この資料を利用するにあたって

このたびは、貴校の課外授業の場に「鎌倉市」をお選びいただき、ありがとうございます。

児童・生徒の皆さんの有意義な活動のために、またその計画をする先生方のお手伝いができればと思い、この冊子を準備いたしました。なお、ご利用の際は、次の点にご留意下さい。

■掲載の資料は令和6年（2024年）3月現在です。最新の情報をご確認の上ご使用ください。

■課外授業等の参考資料に使用する場合に限り、本書の情報をそのまま転載することができます。それ以外の場合にはご遠慮ください。

■モデルコースは、あくまでも参考です。児童・生徒の年齢、体力に合わせて見学場所を調整するなどしてコースを検討してください。
市内の道路は狭いところが多く、歩道の無い箇所もあります。また、道路の多くは市民の皆さんの生活道路ともなっています。道路通行の際は、交通ルールを守るのはもちろん、急に走り出したり、道路に広がって歩いたりすることの無いよう、ご指導ください。

■お寺や神社は、観光地である前に信仰の場です。参拝や見学の際は、静かにし、大声を出したり、悪ふざけをしたりしないようにご指導ください。

■途中で出たゴミは、持ち帰るようにして、ポイ捨てなどはしないようお願いします。

日本遺産のまち 鎌倉のおはなし

JAPAN HERITAGE 日本遺産

鎌倉幕府のはじまり

12世紀末に鎌倉幕府が成立すると、日本で初めての武家による政治が始まり、江戸時代の終わりまで続く武家政治の基盤が作られました。頼朝は、幕府の組織を整備するとともに、鶴岡八幡宮を中心としたまちづくりを始めました。

源氏がわずか3代で絶えたあとも、頼朝の妻政子の実家である北条氏が執権として権力を握り、政治、文化、軍事、外交などの中心として栄えました。また、和賀江嶋を利用して宋や元との交流も盛んになり、経済の発展だけでなく禅宗や仏像彫刻などの文化の発展にもつながりました。

元弘3年（1333）に後醍醐天皇を中心とする反幕府方の新田義貞軍により鎌倉幕府は滅ぼされました。

鎌倉観光の先がけ

幕府が滅んだ後も、時の権力者が鎌倉を保護し続け、江戸時代中ごろからは、地誌などで取り上げられたことで鎌倉は庶民にも広く知られるようになり、江戸近郊の観光地となっていきました。

別荘地鎌倉と鎌倉文士

明治時代になると、暖かく過ごしやすい気候に恵まれ、交通のアクセスが良く、美しい海岸を持つ鎌倉は東京近郊のリゾート地や別荘地として人気を呼びました。また、別荘に暮らすお客さんへの質の高い商品の提供や、別荘を訪問し注文を受け、それぞれの要望に細かく応える「御用聞き（ごようきき）」などのサービスが展開され、鎌倉の商業形態の一つとして確立されるなど、別荘に由来して様々な文化が発展しました。

さらに、同じ時期には多くの作家や文人が住むようになり、活発な文芸活動も展開されました。彼らはやがて「鎌倉文士」と呼ばれるようになり、文筆活動や地域のまちづくりに貢献しました。

歴史と文化が描くモザイク画のまち

鎌倉は、自然と一体となった中世からの社寺がただよわせる雰囲気の中に、色々な時代の建築や土木遺構（どぼくいこう）、鎌倉文士らが残した芸術文化、生業（なりわい）や行事など様々なパーツが、まるでモザイク画のように組み合わされた特別なまちとなりました。

元号	西暦	ことがら
康平6年	1063年	源頼義が京都の石清水八幡宮を由比郷にまつる（現在の元八幡）
平治元年	1159年	平治の乱が起き、源頼朝が伊豆に流される
治承４年	1180年	源頼朝が伊豆で挙兵するが、石橋山の戦いで敗れ安房（千葉県）に逃れる 鎌倉へ入り本拠地とする　鶴岡八幡宮を現在の位置に移す
文治元年	1185年	屋島・壇ノ浦の戦いで源氏が平氏を滅ぼす 国ごとに守護、荘園ごとに地頭を置く
建久３年	1192年	源頼朝が征夷大将軍に任命される
正治元年	1199年	源頼朝が死亡し、源頼家が２代将軍となる
建仁２年	1203年	源頼家が将軍を辞めさせられ、源実朝が３代将軍となる
承久元年	1219年	源実朝が公暁に暗殺され、源氏が途絶える
承久３年	1221年	承久の乱で幕府軍が朝廷軍に勝つ
貞永元年	1232年	北条泰時が御成敗式目を制定する
仁治２年	1241年	朝夷奈切通が完成する
建長５年	1253年	北条時頼が蘭渓道隆に建長寺を創建させる
文永11年	1274年	文永の役が起きる
弘安４年	1281年	弘安の役が起きる
弘安５年	1282年	北条時宗が無学祖元に円覚寺を創建させる
元弘３年	1333年	新田義貞軍が鎌倉を攻め、北条軍と戦う 北条高時が東勝寺で自害し、鎌倉幕府が滅びる
延元３年 暦応元年	1338年	足利尊氏が征夷大将軍に任命され、京都に室町幕府を開く
正平４年 貞和５年	1349年	足利基氏が鎌倉公方（鎌倉御所）となる
康正元年	1455年	鎌倉公方・足利成氏が下総の古河に逃れ、古河公方を名乗る
永正９年	1512年	北条早雲が玉縄城を築いたといわれる
明治13年	1880年	ドイツ人のベルツ博士が鎌倉を訪れ「健康に良い地」として紹介
明治17年	1884年	医学者、長与専斎が「鎌倉の海が海水浴場に最適」と紹介 ～その後、保養地、別荘地として鎌倉が全国に知られるようになる
明治22年	1889年	横須賀線が開通し、鎌倉駅ができる
明治43年	1910年	江ノ電（藤沢～鎌倉）が開通する
大正12年	1923年	相模湾を震源とするマグニチュード 7.9 の関東大震災が発生
昭和３年	1928年	（文化財を震災や火災などから守るため）鎌倉国宝館が完成する
昭和５年	1930年	日本最初の自動車専用道路が開通する（大船～片瀬）
昭和14年	1939年	鎌倉市が誕生する（鎌倉町と腰越町が合併）
昭和41年	1966年	鶴岡八幡宮裏山の開発問題をきっかけに、 古都保存法が定められる
昭和46年	1971年	湘南モノレール（大船～江ノ島）が開通する （サフェ-ジュ式（懸垂型））

かまくら 歴史みどころ マップ

鎌倉は歴史とロマン の宝箱。いろんな角度から歩いてみよう！

鎌倉には
景色や花など
目を楽しませてくれる
スポットがいっぱい！

源義経が、静御前が、
今もここにいるような感じがする。
鎌倉には、歴史を感じられるスポットが
数えられないくらいつまっている。
そこここに歴史の場面が目の前に迫ってくるようだ。

鎌倉駅周辺拡大図

至北鎌倉
浄光明寺
県立
近代美術館
鎌倉別館
鶴岡八幡宮
英勝寺
舞殿
鎌倉文華館
鶴岡ミュージアム
鎌倉国宝館
川喜多映画
記念館
平家池
源氏池
鉄ノ井
三ノ鳥居
寿福寺
鏑木清方
記念美術館
小町通り
若宮大路・段葛
宝戒寺
妙隆寺
JR鎌倉駅
観光
案内所
鎌倉彫会館
滑川
二ノ鳥居
江ノ電鎌倉駅
観光協会
蛭子神社
鎌倉生涯学習センター
鎌倉郵便局
妙本寺
本覚寺
比企一族の墓
至
和田塚
至逗子

……公衆トイレ　……公衆トイレ（車いす利用可）

至大船
きたかまくら
円覚寺
東慶寺
明月院
浄智寺
建長寺
長寿寺
覚園寺
亀ケ谷坂
葛原岡神社
源氏山公園
円応寺
巨福呂坂
鶴岡八幡宮
源頼朝の墓
永福寺跡
瑞泉寺
海蔵寺
仮粧坂
浄光明寺
鎌倉宮
英勝寺
荏柄天神社
葛原岡・大仏
ハイキングコース
銭洗弁財天
寿福寺
鎌倉歴史文化交流館
JR横須賀線
諏訪神社
杉本寺
浄妙寺
宝戒寺
祇園山
ハイキング
コース
鎌倉青少年会館
妙隆寺
二ノ鳥居
観光案内所
鎌倉市役所
報国寺
大仏切通
中央図書館
観光協会
妙本寺
高徳院（大仏）
福祉センター
本覚寺
釈迦堂口切通
（通行禁止）
鎌倉文学館
安養院
光則寺
甘縄神明神社
鎌倉警察署
妙法寺
江ノ電
わだつか
一ノ鳥居
長谷寺
ゆいがはま
はせ
安国論寺
極楽寺
極楽寺坂切通
鎌倉消防署
国道134号線
長勝寺
成就院
ごくらくじ
由比ヶ浜
来迎寺
名越切通
滑川
九品寺
材木座海岸
至江の島
光明寺
稲村ケ崎
和賀江嶋
至逗子
天園ハイキングコース

テーマをしぼって
歴史スポットを
訪ねるのもいいね。

行ってみよう!

文化と美を体感するコース

見て、歩いて、鎌倉を知ろう、歴史を感じよう

鎌倉は鎌倉時代の歴史とロマンがそのまま保存されている街。
あらかじめ歴史を調べておくとより興味深く、楽しく見られるよ。

スタート!

① 北鎌倉駅 → 徒歩2分 → ② 円覚寺 → 徒歩3分 → ③ 浄智寺 → 徒歩7分 → ④ 明月院 → 徒歩11分 → ⑤ 建長寺 → 徒歩15分 → ⑥ 鶴岡八幡宮 → 徒歩12分 → ⑦ 鎌倉駅 ゴール!

見学時間→ 30分 / 20分 / 20分 / 30分 / 30分

たちよりスポット

鎌倉歴史文化交流館

鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場として、平成29年5月にオープンした博物館施設です。イギリスの著名な建築家ノーマン・フォスター氏が代表を務めるフォスター+(アンド)パートナーズの設計による既存建築を活用しながら、鎌倉の歴史・文化を通史的に紹介し、あわせて鎌倉で発掘された出土品などを公開しています。

鎌倉五山

中国の宋の五山制度を見習い、鎌倉の禅宗のお寺に第一位から第五位までの順位がつけられており、第一位が建長寺、第二位が円覚寺、第三位が寿福寺、第四位が浄智寺、第五位が浄妙寺となっています。至徳3年(1386)に将軍足利義満によって決められたといわれています。

鎌倉のおもなみどころ その1

古都の雰囲気を楽しめる見どころがいっぱいね

② 円覚寺 (えんがくじ)

鎌倉五山の第二位。瑞鹿山円覚寺は臨済宗円覚寺派の大本山。元寇(文永・弘安の役)の戦死者を慰霊するために、弘安5年(1282)に北条時宗が宋の無学祖元(仏光国師)を招いて創建しました。釈迦如来の遺骨がまつられているという舎利殿と、関東地方最大といわれる高さ2.59mの梵鐘が国宝に指定されています。

③ 浄智寺 (じょうちじ)

鎌倉五山の第四位。金宝山浄智寺は、北条時宗の弟の子の師時などによって弘安4年(1281)頃に創建されました。過去・現在・未来を意味する三世仏坐像がご本尊です。また、総門の脇には鎌倉十井のひとつ「甘露ノ井」があります。

④ 明月院 (めいげついん)

文永5年(1268)頃、北条時宗が蘭渓道隆を迎え、禅興寺を創建しました。禅興寺は規模も大きく、地位も高いお寺でしたが、明治時代に廃寺となりました。明月院は禅興寺の塔頭の一つで、現在は、境内に多くのアジサイが植えられています。

⑤ 建長寺 (けんちょうじ)

鎌倉五山の第一位。巨福山建長寺は臨済宗建長寺派の大本山です。北条時頼が建長5年(1253)宋の高僧、蘭渓道隆(大覚禅師)を招いて創建しました。梵鐘は国宝に指定されています。

⑥ 鶴岡八幡宮 (つるがおかはちまんぐう)

康平6年(1063)に源頼義が、由比郷に京都の石清水八幡宮を勧請したのが始まり。源頼朝が治承4年(1180)に現在の場所に移しました。それ以来、鎌倉の町づくりの中心となったので、今でも本宮への石段をあがると、町の中心と遠くには海を見ることができます。

鎌倉国宝館 (かまくらこくほうかん)

鎌倉の神社やお寺の貴重な文化財を3500点保管しています。奈良の正倉院をモデルにした校倉風の建物になっており、国の文化財に登録されています。
月曜日(休日の場合次の平日)、年末年始、展示替日などは休館になります。

神社の参拝方法

まず、入口の鳥居で一礼します。このとき、帽子などをかぶっていたら、脱いでから一礼します。参道は、真ん中が神様の通る道といわれていますので、そこを避けて歩きます。手水舎(てみずや)という、参道の脇に水が出ているところがあるので、そこで身を清めます。その方法は、まず右手にひしゃくを持ち、左手を洗います。次に左手にひしゃくを持ち替え、右手を洗います。再び右手にひしゃくを持ち、左手に水を入れて、口をすすぎます。最後にひしゃくをたてて、手に持った部分を洗うようにします。手や口はハンカチで拭きましょう。

いよいよ、本殿の前です。まずは鈴を鳴らして、お賽銭を納めましょう。そして、深く2回おじぎをします。それから、2回拍手(かしわで)を打ちます。そして手を合わせ、お祈りします。最後に1回深くお辞儀をして終わります。

おみくじを引いたり、お守りを買ったりするのは、その後になります。

お寺でのお参りもほぼ同じですが、拍手を打たずに静かに手を合わせてお参りします。また、神社やお寺では静かに参拝や見学をしましょう。

行ってみよう！

人気の名所をめぐるコース

ここは見ておきたい！鎌倉の人気スポットを歩いてみよう

鎌倉には全国的に良く知られている名所がたくさんある。
まずは基本としてそんなスポットをまわってみるのも楽しいね。

スタート！

① 鎌倉駅 →（徒歩30分）→ ② 長谷寺 →（徒歩10分）→ ③ 高徳院（大仏） →（徒歩20分）→ ④ 銭洗弁財天 →（徒歩10分）→ ⑤ 葛原岡神社 →（徒歩5分）→ ⑥ 源氏山公園 →（徒歩15分）→ ⑦ 寿福寺 →（徒歩15分）→ 鎌倉駅

見学時間→ 30分 30分 20分 15分 20分 30分

ゴール！

たちよりスポット

鎌倉文学館

青い屋根とクリーム色の壁の洋館は、加賀百万石の城主であった前田家の別荘でした。鎌倉は古事記の昔から文学と深いかかわりを持ち、また近代になってからもたくさんの文学者が住み、現在でも著名な方が多く住む文化都市です。そこで、前田家から寄贈を受けた鎌倉市が、昭和60年（1985）に鎌倉ゆかりの文士の作品や資料を集めた「鎌倉文学館」を開館させました。
月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始、展示替日などは休館になります。
※大規模改修のため令和5年4月～令和9年3月まで休館予定。

たちよりスポット

由比ヶ浜海岸

明治17年（1884）に医学者の長与博士が「鎌倉の海が海水浴場に最適」と広く紹介してから、海水浴場として全国的に有名になりました。比較的波が穏やかで、また東京から近いこともありシーズン中は、毎年多くの人たちが海水浴を楽しんでいます。

鎌倉のおもなみどころ その2

② はせでら 長谷寺

海光山長谷寺といい、梵鐘に文永元年（1264）の銘があるので、この頃にお寺が完成したと考えられています。本尊の十一面観音は高さが9.18mあり木造では日本一大きいともいわれています。境内からは鎌倉の海が一望できます。

③ こうとくいん（だいぶつ） 高徳院（大仏）

高さ11.31m、重さ121tの大仏は阿弥陀如来坐像といい、高徳院清浄泉寺の本尊で国宝に指定されています。現在の青銅製のものは建長4年（1252）に鋳造が始められました。完成後しばらくは、大仏殿という建物の中にありましたが、大仏殿は地震や津波でたびたび倒壊し、15世紀頃からは現在と同じ露座になったと考えられています。

④ ぜにあらいべんざいてん 銭洗弁財天

正式には銭洗弁財天宇賀福神社といい、巳年の文治元年（1185）の巳の月、巳の日に、源頼朝が見た夢のお告げで創建されたといわれています。鎌倉五名水のひとつである銭洗水でお金を洗って使うと、増えて戻ってくるといわれています。

⑤ くずはらおかじんじゃ 葛原岡神社

明治20年（1887）に日野俊基の霊をまつるために創建されました。俊基は、鎌倉時代の終わりごろに後醍醐天皇を助け、鎌倉幕府を倒そうとした公家のひとりです。その計画が事前にもれて京都で捕らえられました。一度は許されましたが、再び捕まりここで処刑されました。

⑥ げんじやまこうえん 源氏山公園

英勝寺と寿福寺の裏山にまたがる山で、八幡太郎義家が後三年の役のときにこの山の上に源氏の白い旗を立てて戦勝祈願をしたという伝説から名づけられるようになったといいます。昭和40年（1965）に公園として整備され、芝生の広場には頼朝像が建てられています。

⑦ じゅふくじ 寿福寺

鎌倉五山の第三位。亀谷山寿福寺の場所は頼朝の父、義朝の屋敷のあったところといわれています。正治2年（1200）に北条政子が明菴栄西を招いて創建されました。
墓地には、三代将軍実朝と政子の墓と伝えられる五輪塔がまつられています。
※中門まで拝観可能

鎌倉には行っておきたい有名スポットが盛り沢山。

切通（きりどおし）

三方を山に囲まれた鎌倉では、交通の便を図るために山を切り開いて「切通（きりどおし）」といわれる道路を作りました。その中でも極楽寺坂、大仏切通、仮粧坂、朝夷奈切通、亀ヶ谷坂、巨福呂坂、名越切通の七ヶ所の切通を特に七切通と呼びます。鎌倉と他の土地とを行き来するのには、必ず切通を通らなくてはなりませんでした。そのため、道幅も狭く両側が切り立ったがけにして、戦のときにも封鎖をしやすいといった、軍事上の目的もあったようです。
仮粧坂などは、昔のままの姿を良く残しているので、通ってみるのも良いでしょう。